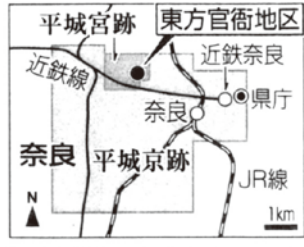


# 平城宮跡から種8万粒



平城宮跡「東方官衙地区」の穴から見つかった種の一部＝奈良市の奈良文化財研究所

## 残飯、ふん便捨てた穴？

芝康次郎研究員らがの種もあり、残飯やふん便を捨てた穴だったとみられる。採取した土を処理していた芝研究員が膨大な量の種が含まれていることに気づき、コンテナ4箱分(乾燥状態で約12kg)の土を調査。後の力キやアケビなど

平城宮跡(奈良市)で役所が集中していた「東方官衙地区」の穴(8世紀)から、ウリやキイチゴなど推定8万粒以上に及ぶ大量の種が見つかり、奈良文化財研究所が2日発表。平城宮でこれほど多くの種が見つかるのは初めてで、役人の生ごみやふん便とみられる。時代と食べた人間を特定できる遺物は珍しく、奈良時代の役人の食生活を物語る貴重な史料となりそうだ。

## 73歳電動カートで礼文縦断

【礼文】さいたま市で電動カートの販売会社を経営する女性が2日、自社製カートで礼文島(宗谷管内礼文町)の約100キロを走破する挑戦を始めた。最高時速6キロで4日間での完走を目指す。女性は同市の内山久美子さん(73)。文房具卸売業を営んでいた65歳の時、自宅で椅子から転倒し左膝を痛め、一時はつえが頼りになった。引きこもりがちになる中、購入した電動カートは操作が複雑で車体も大き過ぎたため、乗りやすいよう改良を決意した。

さいたま市の内山さん 自社製品で挑戦

## 「高齢者を元気づけたい」

「幼いころから機械いじりが好きだった」という腕前を生かし、計器類を単純化、タイヤやボデーが完全な形で確認さし、そのうちマクワウ一種が約5400粒と最

えられるものだけで約2万5千粒を確認し、総数は4箱で8万粒を超えるものとみている。また当時の記録にないシンやイチジク属のイタビカズラも出土。平安時代の法令集「延喜式」に貢ぎ物として

芝研究員は「奈良時代の食材は木簡や正倉院文書などの文献に残るが、実態はよく分かっていない。役人が実際に何をどれだけ食べたのか、今後の比較材料にもなる」としている。



改良を重ねた電動カートで礼文島縦断の旅に出発する内山さん＝2日午前9時すぎ、礼文町香深港フェリーターミナル前

イを小型化し、一般的な製品より約40キロ軽い58キロの製品をつくった。2年前に会社を設立し、約14万円で販売も始めた。内山さんは「高山植物を見ながら楽しんで走ります。足が悪いおばあちゃんでも、こんな挑戦ができるんだと知ってほしい」と話している。

【旭川】から時5分ごろ、6の18の座北アークイン北彩都店駐車場で、従業員(30)がたと、同警番通報が、は病院に、傷だった。旭川東車従業員3人

【広尾】時50分ごろ、三重県山市の東線で1日、観光バスがバスを、識を失、がバスを、人は無事した。運院で急、死亡が、県警、日午後、かな右、たバスが